

災害時相互応援協定調印式



岩手県奥州市と災害時相互応援協定を締結しました

3月23日(木)、奥州市役所において、井本市長と小沢奥州市長が出席し、岩手県奥州市と「岩手県奥州市及び福岡県大野城市災害時相互応援協定」を締結しました。

この協定では、いずれかの市域において大規模な災害が発生した場合に、応急対策並びに復旧・復興対策が円滑に遂行できるよう、相互に応援を行うこととしており、大野城市と遠隔地自治体との災害時応援協定の締結は初めてとなります。

奥州市とは、今後ともさまざまな分野での交流を広げていきたいと考えています。

経緯

市では、東日本大震災や熊本地震などの教訓から、自治体間の相互連携の重要性を認識し、また、同時に被災する可能性が低い遠隔地の自治体との協力関係が必要であると考え、協定の締結に向け検討を行っていました。

奥州市とは東日本大震災以降、交流が始まり、「東北地方の小中学校との交流事業」において小中学生同士の交流を行ったり、「被災地応援まどかショップ」にて奥州市の特産品を販売したりするなどの、交流を継続してきました。

応援の内容

- ◇応急対策等に必要な職員の派遣
- ◇食料、飲料水および生活必需品の提供
- ◇応急対策などに必要な資機材の提供
- ◇救護及び救助に必要な車両などの提供
- ◇災害時の情報発信の協力
- ◇そのほか特に要請のあった事項

奥州市の概要

奥州市は、岩手県の内陸南部に位置し、平成18年に水沢市、江刺市、前沢町、胆沢町、衣川村の2市2町1村が合併し誕生しました。

- ◇人口 11万9898人
- ◇世帯数 4万4859世帯
※平成29年2月28日現在
- ◇面積 993.30平方キロメートル

●問い合わせ先

危機管理課 ☎(580)1966

